

株式会社リアルアイ
代表取締役 中尾 一彦 さん

豊富な実績と確かな顧客目線で満足いくデザインを届けたい

今回のがんばってますは、約2万点にも及ぶデザインを手がけ、豊富な実績で確かな目を持ち、顧客満足度を追求する、株式会社リアルアイ・代表取締役の中尾一彦さんをご紹介します。



リアルアイを立ち上げるまで
地元の工業高校で電子工学を学び、東京の電子機器メーカーで品質管理等の仕事をしてきた中尾さん。その後、長崎に戻ってからデザイン会社に勤めることになり、この道へ。

「創業当初は友人と共同経営でスタートしました。その後、友人のサポートもあり、デザインを担当していた私の仕事が口コミを中心に徐々に知られるようになり、独立に至りました。まさか個人で開業するまでになるとは思いませんでしたね」と笑顔で振り返る。

社名「リアルアイ」に込められた思い
「リアルアイ。その名のとおり、真実を見る目」という意味です。デザインの仕事は、どうしても自分の作品に思い入れが強くなりがちです。で、「常に依頼内容の本質を探り、顧客目線で仕事をするのを忘れてはいけない」という思いを込めました」と中尾さん。

「作品を通じて顧客の利益を最大限に引き出すことが大切。私がかつてもとはデザイナーではなかったからこそ、客観的にみられているのかもしれない」と語る。

「いただいた一つひとつの仕事や従業員を大切に、会社に体力をつけてもっと新しいことにチャレンジしていきたいです。長崎らしい商品を育てるお手伝いをするなど、地域に貢献できる仕事も増やしていきたいですね」と力強く抱負を語った。

自社のブランディングを強化するデザインを頼みたい！一から親身になって企画をサポートしてほしい！という方は、ぜひ「リアルアイ」を尋ねてみてください。

こだわりの仕事術

「依頼主の経営戦略が見えてくるとそこから枝葉のようにいろんなアイデアが浮かび進めやすくなる」と話す中尾さん。実際、顧客からの「お客様へ寄り添った内容の情報を届けたい」との要望に対し、「残暑見舞いの時期に出すニュースレターを提案し、その中で経営者の顔やコメント・商品を紹介し、効果的に見せる一方で、健康レシピを紹介し一息つけるコーナーを設けました」と、一からの企画にも親身になって顧客に寄り添いながら考えぬくのが「リアルアイ流」。

「いただいた仕事は、当然ながら予算や時間的な制約があります。その中でお互いベストな答えを探し、制約をクリアしながら、お客様の期待に添った最良なものを提供できるようにいつも考えています」

幅広い仕事内容

これまで20年以上にわたって手がけたデ

今後の目標

「昨今、ネット業界での広告の幅がますます広がりをみせているが、紙媒体での広告も大切にしながら常にアイデアを生み出し、お客様の役に立つべく、チャレンジする気持ちは忘れない。」



① 同社が手がけたニュースレター
② 一から企画に携わった会社のパンフレット
③ リアルアイのスタッフ一同「私たちがデザインしています！」

Information



株式会社リアルアイ
〒850-0033 長崎市方才町1-13 伊集院ビル BF102
☎095-825-2502 ☎095-826-7517
HP <http://www.realeye-n.com>
営 月～金 9:30～18:30
休 土・日・祝日